

令和7年度 @山形

東北・北海道 計量大会

へ参加してきました

2025年10月2日に、東北・北海道ブロックの計量大会が山形市のホテルメトロポリタン山形にて開催されました。今年は久々の地元開催となりましたので、弊社の参加希望者も少々多く、計5名にて参加してきました。

表彰や記念事業の紹介が終わると大会宣言がなされ、まずは総会にて所属道県から挙げられた議題について協議しました。今回特に厚く扱われた議題は、2027年(令和9年)の4月より開始される「自動補足式はかりの使用制限」に伴う、計画的な検定受検についてでした。詳しくは下コラムをご覧ください。

こちらの議題は主に一般計量に係る内容であったため、環境計量を主とする弊社では認知が薄く、こういった問題もあるのかと勉強になりました。

記念講演は、山形県長井市在住の秋元悟氏による「けん玉と歩んだ30年」でした。競技用けん玉の生産量日本一である長井市にて、けん玉の魅力を発信し続けている秋元氏のけん玉人生について語られました。

まさかけん玉の話が聞けるとは思っておらず、演題を聞いた際は驚きましたが、紅白歌合戦のギネス挑戦の裏話なども聞くことができ、楽しく貴重な体験となりました。

講演後にはけん玉のパフォーマンス実演も行われ、30連けん玉の成功の際には、会場から大きな拍手が起きました。



自動補足式はかりの使用制限について（総会の様子）

計量法の改正により、2027年(令和9年)の4月より、「自動補足式はかり」の使用制限が開始します。開始後は自動補足式はかりを取り引や証明に使用する場合、指定検定機関での検定を受け、合格する必要があります。

現行で使用しているものも対象となりますので、該当の機器を今現在使用している場合、2027年の4月までに検定を受けて合格を得ないと、使用が認められず、今まで通りの業務遂行が困難になる可能性があります。

上記の指定検定機関や人員として、実際に検定を実施するのが一般計量の有資格者や関係機関となるのですが、機関・人員共に数が限られています。

もし使用制限開始直前に多くの企業・団体等から依頼が集中した場合、期限内に検定を完了することが困難になる点が、現在問題視されています。

そこで国や都道府県などは、2025年(令和7年)度からの早期の検定受検を呼びかけています。その施策が十分に機能しているかを含め、今後の対策についての提案・意見交換が総会のメインとなっていました。

特に北海道・東北ブロックでは、その広い面積に対して各道県に所属している計量士の数が多くないことを危惧しており、現状の施策のままでは検定漏れ等が生じかねない、という意見も見受けられました。それらの対策として、各道県所属の計量士が管轄の道・県のみを担当するのではなく、北海道・東北6県を跨ぎ、各計量士が協力しながら検定を実施できる仕組みを確立してほしい、などの案が挙がりました。

分析室 新機器 続々導入

弊社ではここ数年、分析精度の向上や、業務効率の改善を目的に、様々な機器を更新・導入しております。その一部をご紹介します。

超純水装置

超純水を精製する装置を新調しました。また広くなった分析室に対応するため、新たに二台目を導入しています。



自動器具洗浄機

器具や容器を自動で洗浄・乾燥してくれる洗浄機を新たに導入しました。業務効率UPに貢献してくれています。



社員コラム

佐久間 駿 の 環境計量講習記

vol.33

2025年の10月に茨城県つくば市の産業技術総合研究所で開催された「環境計量講習(騒音・振動関係)」に参加しました。コラムの題材としてちょうどよいと思いましたので、その体験をお伝えします。こちらは環境計量士(騒音・振動関係)の試験に合格したが、「1年以上の実務経験」という登録要件を満たしていない人向けの講習です。5日間の講習を受講することにより、環境計量士(騒音・振動関係)の登録が可能になります。

初日は計量法や環境関連法令、音や振動の基礎理論についての講義を受けました。専門的な内容が多く、最初は戸惑いもありましたが、講師の先生方の丁寧な説明と豊富な事例紹介により、徐々に理解が深まりました。

2日目以降の実習では、実際に騒音計や振動レベル計を使い、道路や工事現場を想定した測定を体験しました。数値が環境条件によって大きく変化することを肌で感じ、測定現場では機器操作だけでなく、周囲の状況をよく観察する大切さを実感しました。

最終日には全員で成果を共有し、修了証をいただきました。様々な業種の方々と交流を深めることができ、学びの多い5日間でした。環境計量士としての責任とやりがいを改めて感じています。今回得た知識や経験を日々の業務に活かし、正確で信頼される測定を目指して今後も努力していきたいと思います。

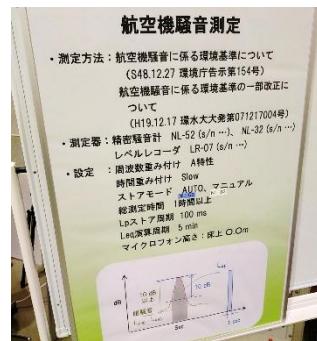


講習中宿泊したさくら館

産総研の施設内にあり、1泊1700円と格安でした。

振動測定の様子

産総研付近の道路で振動測定の実習を行いました。



航空機騒音測定の測定条件一覧

航空機や新幹線の騒音を実際に測ることは、場所的にも時間的にもハードルが高いため、モニターやスピーカーを利用して、模擬的に測定体験をしました。

ネクスト環境のつば



米沢市マスコットキャラクター
かねたん

今号は紙面内容の都合で全社員紹介はお休みとなります。次号にて残りのメンバーの紹介を取り上げますので、楽しみにしていた方は、もうしばらくお待ちください。

計量大会で話題になった自動補足式はかりの件は、確かに制限開始直前は検定が混みあうことが予想されます。対象機器をご利用の方へは、ぜひ早期の受検をお勧めしたいと思います。

ネクスト環境コンサルタント株式会社

〒992-0119 山形県米沢市アルカディア 1-808-17

TEL 0238-29-0025 FAX 0238-29-0015

E-mail info@next-enviro.co.jp

HP <https://next-enviro.co.jp>

NKC 通信に関するお問合せや、郵送停止のご希望がございましたら、上記までお知らせください。